

第308回 京都歩こう会コース案内

リーダー 多湖 幹男

新年恒例の初詣

日時:2022年1月14日(金)

集合:北野天満宮・正面大鳥居前 10時受付終了

コース:初詣 北野天満宮・正式参拝・・・(現在の所 ご祈祷 全員入場可)

距離:0.0km

行程:正面大鳥居前受付終了後⇒ 内容ご連絡⇒ 拝殿前移動・記念撮影⇒ 拝殿(ご祈祷) 解散

食事会
新型コロナの為中止!

◎恒例の食事会、今年も新型コロナ感染防止の観点より残念ながら中止とさせていただきます。

【見どころ】

● 北野天満宮の由緒:

北野天満宮の創建は、平安時代中頃の天曆元年(947年)、西ノ京の多治比文子や近江国の比良宮の神主神良種、北野朝日寺の僧 最珍らが当所に神殿を建て、菅原道真公をお祀りしたのが始まりとされる。その後、藤原氏により大規模な社殿造営があり、永延元年(987年)一条天皇の勅使が派遣され国家平安が祈念された。この時代から「北野天満宮」の神号が認められ、寛弘元年(1004年)の一条天皇の行幸をはじめ、代々皇室の崇敬をうけ、国家国民を守護する靈験あらたかな神として崇められてきた。

現在、全国各地には道真公をお祀りした神社が、約12,000社あるとも言われ、その多くが当宮からの御霊分けをした神社となります。

● 北野天満宮・史跡 御土居のみみじ:

桃山時代 豊臣秀吉公が洛中洛外の境界に、水防のための土塁「御土居」を築いた。その一部が残る境内の西側一帯は史跡として指定され、現在 約350本のみみじを有する名所となっている。

国宝御本殿と紅葉の風景はまことに絶景である。

● 上七軒:

室町時代に北野天満宮再建の際、残った資材を使って七軒の茶店を建てたのが由来である。桃山時代に、豊臣秀吉が北野天満宮で大茶会を開いた折り、茶店側が団子を献上した所、大いに誉められて以来、西陣との結びつきもあり花街としての繁栄を極める。



正面大鳥居(一の鳥居)



拝殿(国宝)



東側より 拝殿

【次回第309回ご案内】

日時:2022年2月25日(第4金曜)

コース:洛東・東山を散策 8.0km ☆

集合:京阪本線・清水五条駅 午前10時

【次回下見会のご案内】

日時:2022年2月11日(第2金曜)

コース:近江商人の郷・近江八幡を歩く 7.7km

集合:JR東海道本線・近江八幡駅 午前10時出発